

幕末に「寄場村」だった五日市は、明治12年「町」となり、青梅警察署五日市分署、八王子区裁判所五日市出張所、五日市郵便取扱所等が設置され、民間では五日市銀行が設立、五日市上市場が開設される等賑わっていた。自由民権運動の高まりの中で、町の富裕層を中心として五日市学芸懇談会等が結成され、学習・討論・演説会等を活発に行っていた。大正になると八王子市や青梅町に刺激され電気、水道、鉄道等の近代産業が起業された。

*寄場村・・幕府は、文政10年関東地方の治安維持組織として、組合村制度を発足させた。五日市村は、近隣の38か村の事務等を統轄した。

ご参加の皆様へのお願い

- ・集合から解散まで統一行動とします。
- ・歩行中は1列または2列で歩き、道路横断時など交通安全に十分に気をつけてください。
- ・急坂や、石段などもありますので、足元に注意してください。
- ・果樹や野菜、植物などを採取しないでください。
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社・寺院などに伺います。失礼のないようにしてください。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- ・活動中の飲酒はご遠慮ください。

私たち市民解説員は、ふるさとあきる野市を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に務めると共に、これらを市民の皆様を紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。

あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。

美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っています。

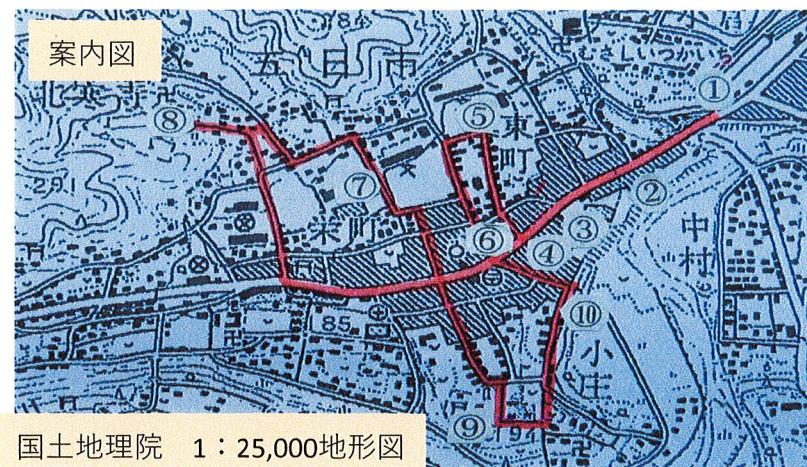
今後ともよろしくお願いいたします。

マスクの着用、検温、体調がすぐれないときの取りやめなど、新型コロナウイルス感染防止にご協力をお願いいたします。

・担当解説員氏名 原田辰生、神田 武、住友恒正、田野倉 全、板花七郎

自由民権運動と、近代化事業を推進した人びと

～明治12年 渋谷が村の頃、五日市は町だった～



市民解説員が案内する市内探訪(秋の半日コース)

実施日 2022年9月29日(木):予備日 9月30日(金)

集合 武蔵五日市駅 午前9時、出発 午前9時15分

コース ①武蔵五日市駅(バス)→ ②勸能学校跡→ ③五日市ひろば(バス)→
岸忠左衛門旧居→萩原タケ生家跡→ ④内山安兵衛旧居跡→
五日市簡易裁判所跡・五日市警察署跡→ ⑤五日市小学校→
⑥阿伎留神社御旅所・馬場勘左衛門旧居→土屋勘兵衛旧居→
土屋常七旧居→ ⑦五日市出張所(バス):萩原タケ胸像・五日市憲法
草案の碑→ ⑧開光院→ *五日市登記所跡→
⑨阿伎留神社→ 内山安兵衛墓所→ ⑩栗島神社
→ 武蔵五日市駅(バス)午後0時30分

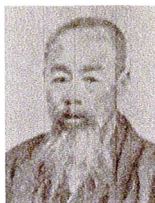


あきる野市中央公民館

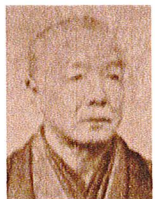
1 五日市学芸懇談会の主要メンバー



土屋勘兵衛：天保3年9月11日～明治40年2月没、自由党员、戸長・県会創設当初から県議に選出される。五日市町会や学芸懇談会の運営に大きな影響を与えた。嚶鳴社草案を入手し、五日市憲法草案の起草に尽力、五日市地域の最長老。



馬場勘左衛門：天保7年8月13日～大正5年3月12日、自由党员、明治11年西多摩郡書記、五日市町長、学芸懇談会幹事、明治26年三多摩の東京府移管に反対して辞職。役場は一時閉鎖となった。岸忠左衛門を引き立てた。



土屋常七：天保9年9月9日～昭和11年9月28日、自由党员、土屋勘兵衛の弟、村用掛の後、学芸懇談会年寄、実業界に転じ酒醸造業、織物仲買業を営み、五日市銀行を設立し、幅広く商いを行う。開光院前に顕彰碑が建立されている。

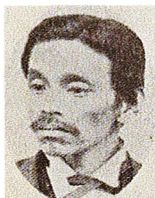


千葉卓三郎：嘉永5年6月17日～明治16年11月12日、陸前国栗原郡生、戊辰戦争後、修学遍歴等過酷な体験をしながら、明治13年頃から勸能学校教員、深沢父子の知遇や、五日市の同志の協力を得て、明治14年私擬憲法草案を起草する。



深沢権八：文久元年4月28日～明治23年12月24日、自由党员、県会議員、明治14年千葉卓三郎を助け五日市憲法の起草に尽力する。千葉の影響を強く受け自由と人権意識を学び、内山と共に五日市民権運動の指導者となる。明治18年国会開設期限短縮建白書を提出する。

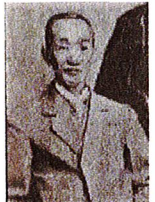
2 近代化事業を推進したメンバー



内山安兵衛：慶応元年12月13日～昭和11年9月28日、自由党员、県会議員、府会議員、代議士、五日市鉄道㈱社長、元八王子の自由党员山上卓樹の影響を受け、キリスト教に入信した。早くから自由民権に目覚め学芸懇談会会長となり活躍する。



岸忠左衛門：明治元年8月17日～昭和10年7月31日、北多摩郡奈良橋村の豪農鎌田喜三郎の三男で弥十郎(弥十)として出生。長兄は喜三(後・訥郎)で郡会議員、県会議員、府会議員を歴任。次兄は喜十郎で千葉卓三郎に私淑した。明治18年炭問屋兼そうめん製造業の「すみや」の養子となり岸忠左衛門を襲名、郡会議員、五日市町長、府会議員を歴任、大正5年秋川水力電気会社、同11年五日市鉄道㈱、同12年五日市水道利用組合等を起業し発展に導いた。昭和43年生誕百年を記念して阿伎留神社境内に胸像が建立された。



小机三造：？～大正13年4月8日没、増戸村の山林地主、豪放な岸と誠実・緻密で経済力、信用力のある息の合った提携は、困難な開発事業を遂行させる原動力となった。五日市鉄道建設に伴う用地交渉・資金等の心労により事業半ばで逝去した。



沼田省太郎：明治20年～昭和40年7月24日、五日市町役場に奉職し21歳で収入役、24歳で助役、岸と小机の推進した近代化事業の実務を担当し、28歳で秋川水力電気会社、後に五日市鉄道㈱総支配人となった。

3 見学地メモ（＊印は、案内のみです。）

①武蔵五日市駅：大正14年4月21日開通した五日市鉄道の始発駅、以前は小高い場所だったが、平成8年、都道31号の渋滞緩和、駅前広場整備等で地盤を切り下げ、駅は立体化した。

②勸能学校跡：千葉卓三郎も教鞭をとった。

③五日市ひろば：「市神様」がある。元東京都五日市勤労福祉会館、東京都西多摩建設事務所五日市・日の出工区があった。

＊岸忠左衛門旧居：現寿美屋・製麺業、寿庵忠左衛門を経営

＊萩原タケ生家跡：魚治付近

④内山安兵衛旧居跡：先祖は黒八丈の販売で成功した、大山林地主。元質屋(質屋に資金を融通する)を生業とした、歴代の豪農。先代は武州一揆撃退に尽力した。現・西東京バス駐車場である。

＊八王子区裁判所五日市出張所(簡裁)跡、五日市警察署跡

⑤五日市小学校：大正11年開校、勸能学校の門柱も移転した。

⑥阿伎留神社御旅所：正徳年中から9月28、29日に神社神輿が安置される。馬場勘左衛門旧居

＊五日市郵便局、五日市登記所跡・現JAあきがわ五日市支店

＊土屋勘兵衛：土屋常七旧居：現・りそな銀行を挟んだ向い合わせ。

＊五日市市場跡(生糸・繭・雑品) ⑦五日市出張所：合併前の五日市町役場、萩原タケ胸像、五日市憲法草案の碑

⑧開光院：臨済宗建長寺派、本尊は文殊菩薩、神道無念流酒井直治碑・土屋紫水翁(碑記)・翁塚

＊都立五日市高校：昭和23年五日市小学校構内に開設した、

＊五日市登記所跡：都道33号(檜原街道)拡幅後に移転した。

⑨阿伎留神社：延喜式神名帳で多摩郡8座の一社。祭神は大物主命、三代実録の元慶8年畔切神に従四位下を授けた旨の記載あり。

＊内山安兵衛墓所：フランス製の、ブロンズの十字架がある。

⑩栗島神社：医薬の祖神、交通安全の守護神を祀る。

＊参考資料：五日市町史、西多摩郡誌(千秋社)、多摩の民権家と結社(町田市立自由民権資料館)、秋川流域人物伝、西の風(2005年4月22日)、郷土近代化の父岸忠左衛門翁、他